

平成30年度 第2回沼田市子ども・子育て会議 会議録（概要）

会議の概要

開催日時	平成30年12月26日（火） 午後1時から午後3時
開催場所	沼田市保健福祉センター 3階 研修室
出席者 ◎会長 ○副会長	<p>【委員】 荒木委員、大城委員、小淵委員、○櫛淵委員、◎小林委員、田辺委員、 中野委員、庭野委員、藤巻亜委員、藤巻貞委員、松井委員、吉田委員</p> <p>【市関係者】 角田健康課長、富田学校教育課長、入澤学校教育係長</p> <p>【事務局】 小池子ども課長、青柳子育て支援係長、見城保育係長、萩原主査</p>
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ（会長）</p> <p>3 議 事</p> <p>（1）「第2期沼田市子ども・子育て支援事業計画」ニーズ調査について</p> <p>（2）沼田市保育園民営化ガイドライン（仮）について</p> <p>（3）その他</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉 会</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について ・ ニーズ調査票（就学前児童保護者用）（案） ・ ニーズ調査票（小学生の保護者用）（案） ・ 「就学前児童」調査票 調査項目区分 ・ 第2期子ども・子育て支援事業計画 今後のスケジュールについて ・ 沼田市公立保育園の民営化に関するガイドライン（案） ・ ぬまた南保育園民営化スケジュール（案） ・ ぬまた南保育園民営化に関するアンケート調査結果

議事要旨

発言者	議事の経過及び発言の要旨
	<p>1 開 会 2 あいさつ 会 長 3 議 事</p>
会 長	<p>(1)第2期沼田市子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査について 2回の専門委員会の審議概要について、専門委員会委員長より報告願いたい。</p>
副会長 (委員長)	<p>ニーズ調査の内容を検討した結果、主な意見は2点あった。1点は、設問が多すぎるので、重複する設問を削除するなど、回答しやすいように見直す必要があること。もう1点は、国が求める一般的な設問だけでなく、せつかくの機会なので、沼田市の施策に活かせる内容の質問を設定した方がいいのではないかと、ということであった。意見を受けて事務局が検討することとなっていたので、事務局から説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>【資料1「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査について」、資料「ニーズ調査票（就学前児童保護者用）（案）」「ニーズ調査票（小学生の保護者用）（案）」、資料2「「就学前児童」調査票 調査項目区分」、資料3「第2期子ども・子育て支援事業計画 今後のスケジュールについて」により説明。】</p> <p>まず、ニーズ調査の概要を説明する。就学前児童と小学生のいる家庭を対象とするが、同一世帯に重複して調査票が届かないよう配慮している。就学前児童用調査票は郵送送付、郵送回収。小学生用については、小学校経由で配布、郵送回収を予定。1月中旬に発送、1月31日の回収を予定。資料では就学前児童用調査票の配布予定数1,800件となっているが、重複世帯の整理をした結果1,500件弱を予定している。</p> <p>調査項目区分の中で、○は前回から引き続き国が必須項目としているもの。▲は沼田市独自のもの、※は新たに追加されたもの。</p> <p>就学前児童用について、幼児教育無償化を加味した設問を追加している。また、量の見込みの算出に影響がないと思われる設問は削除している。専門委員会の意見を受けて、選択肢や市独自の設問に市の施策を反映させた。</p> <p>集計ができたところで、専門委員会で審議し、子ども・子育て会議で報告しご意見をいただきながら、計画策定に向けて進めていきたい。</p>
会 長	<p>以上の説明についてご質問ご意見をいただきたい。</p>

委員	協力をお願いするので、タイトルを「ニーズ調査ご協力のお願い」という表現にしたり、お問い合わせ先も、平日のみとする、受付時間を明記する、通話料が発生する、など、詳しく記載するべきではないか。メールアドレスも記載した方がいい。
委員	地区を問う設問があるが、就学前児童の保護者は、自分の居住地がどこの地区になるのか知らない人も多いので、注釈が必要である。
事務局	ご指摘のとおり修正して配布したい。
学校教育課長	小学生用の調査票について、計画策定のための調査であれば、回収数が多い方がいいので、郵送ではなく学校に回収をお願いしてはどうか。
事務局	調査対象が抽出で全員でないため、学校の負担が懸念される。
会長	前回の回収率を見ても、郵送では回収率が50%を切っている。せっかくの調査なので、回収率を考慮し、学校の協力を得た方がいいのではないか。
事務局	校長会などの機会に説明した上で、学校経由で回収する方向で進めていきたい。
委員	反対ではないが、学校にとって負担が大きいことはご理解いただきたい。
会長	配布方法については、学校教育課と協議の上、極力回収率を上げる方法で調整するというところでよろしいか。
委員	(異議なし。)
会長	調査票についてお気づきの点があれば、年明け早めに事務局にご連絡いただきたい。
会長	(2)沼田市保育園民営化ガイドライン(仮)について 専門委員会の審議概要について、専門委員会委員長より報告願いたい。
副会長(委員長)	2回の専門委員会で審議したが、未定の部分が多い。市の財産がどうなるか、目的のところをどうするかをまず決めていただくとともに、アンケートの結果等を参考に、本市の保育の現状を踏まえて、専門委員会で今後さらに審議を進めながら、ガイドライン(案)として組み立てていくことになる。詳細は事務局に説明をお願いする。

事務局 【資料4「沼田市公立保育園の民営化に関するガイドライン（案）」「ぬまた南保育園民営化スケジュール(案)」「ぬまた南保育園民営化に関するアンケート調査結果」により説明。】

2023年のぬまた南保育園民営化を見据え、今年度についてはガイドラインを策定する作業を進めるにあたり、関係者や保護者の意見を聴くために子ども・子育て会議に審議をお願いしているものである。その前段で9月に保護者アンケートを実施し、専門委員会で報告し、保護者にも結果を返し情報共有している。民営化への意見、具体的な進め方についての意見を聴くことができたので、反映させながら、専門委員会において意見をいただきガイドライン（案）の策定を進めていきたい。

会 長 平成31年度はかなり具体的な策定作業に入っていくのでご承知いただきたい。事務局説明のとおりでよろしいか。

委 員 (異議なし。)

(3) その他「幼児教育無償化について」

会 長 事務局から説明願いたい。

事務局 【資料「厚労省作成パンフレット」により説明。】

詳細はまだ情報が少ないが、消費税率引き上げ時の2019年10月1日から、3歳から5歳までの子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園などの利用料の無償化が国の制度により実施される案が国から示されている。

会 長 市の負担はないのか。

事務局 当初は市の負担はないという話だったが、現時点の情報では、市が負担する部分の増もありそうである。

委 員 沼田市が現在単独で負担して軽減している部分が減る、という考え方もあるのではないか。

無償化について、現状で考えられる課題が二つある。一つは長時間化の問題である。実際、先行して実施している自治体では、長時間化の傾向が現実問題として現れている。長時間預けられることが、本当に子どものためなのか、また、保育士確保の課題など、沼田市だけで解決できるものではないかも知れないが、検討を要する。

もう一つは、給食費は無償化の対象外になるとされているため、2号認定で利用料金が少ない階層の場合、無償化により納める料金がむしろ高くなる場合が出てくることではないかという懸念があり、今後検討を要する。

会 長	新聞報道でも、保育士に対するアンケートで、無償化が長時間化につながり、業務量が増加するのではないかと心配する意見が出ていることが掲載されていた。具体的な情報が出てきたところで、改めてご意見をいただきたい。他に何か意見等あるか。
委 員	学童クラブについて、発達障害のある子、いわゆる気になる子が利用するケースが今後増えることが予想される中で、小学校との情報共有ができた方が、その子のためのケアがやりやすくなるのではないか。以前からアプローチはしているが、個人情報の問題もあり難しいと感じている。保健師さんに間に入っていただいたり、定期的な協議の場を設けるなど、仕組みとして整えていけるとよいと考えている。学校としてはどうか。
委 員	個人情報をどうするか、保護者の同意をどうするか、組織体制をどうするか、といった課題はあるが、学校側も専門的なノウハウが少なく手探りで支援を行っている中で、個別のケアプランを作って支援することは、有効であると考えます。
委 員	具体的な方法については、今後ご相談させていただきたい。
会 長	提言の中でも「「発達気になる子」の支援体制の整備」を掲げている。今後、協議しながら進めていく必要がある。 関連して、不登校の子どもの学習支援の場としてはどんなものがあるか。
学校教育 課長	白沢支所2階の「適応教室きずな」では、いわゆる保健室登校をしている子どもなどが利用している。指導員を通して複数の子どもと交流することにより、コミュニケーションなどに改善が見られている。
会 長	広い意味で「子育て支援」ということで、不登校の子どもについての施策も検討していく必要があるのではないか。
会 長	4 その他 事務局から説明願いたい。
事務局	ニーズ調査のスケジュールで説明したが、ニーズ調査の結果が出たところで専門委員会、そして子ども・子育て会議の開催を予定している。 子ども広場の移転について、テラス沼田の工期が年明け2月末に延長となっているが、来年5月7日オープンの予定については変更はない。月曜日から土曜日までの開所を予定しているが、開所時間については現在調整中。 少子化対策の交付金事業で作成したリーフレット「はたちからの参考書」を配布させていただいた。子育て支援団体との協働により編集作業を行っ

	たものである。
会 長	保健福祉センターについては、5月7日以降どうなるのか。
健康課長	現在、関係機関で協議をしているところであるが、4階ホールについては、現行の貸館利用と変わらない。他の部屋の貸出しについては、利用料金等について調整中である。
会 長	中央公民館と同じような形で市民が利用できるとよい。市民の負担が増えないよう引き続き検討されたい。
	5 閉 会